

友和苑だより

第211号 2021年1月1日

発行・編集

社会福祉法人 麩城会 友和苑

発行責任者 施設長 村田 務

〒503-0962

大垣市入方3丁目70番地の1

TEL : 0584-88-1567

mail : yuuwaen@wonder.ocn.ne.jp

URL: <http://www.yuuwaen.jp/>

謹賀新年

新年明けましておめでとう

とございます。旧年中はひとかたならぬご厚情にあずかり、誠にありがたく御礼を申し上げます。

昨年は、日本全国新型コロナウイルスに始まり新型コロナウイルスに終わり、今もお続いております。仕方がないのですが、新型コロナウイルス感染症以外のことを考える余裕のない、先限がかかる窮屈な一年であつたように感じています。そのような中、友和苑の面白い話題として、外国人技能実習生としてミャンマーから四名が昨年十一月末から一緒に働いていることとです。この制度の趣旨は、介護というものを日本で学び、この知識と経験を母国の社会に活かす、技術と技能の移転にあります。ミャンマーという国は、政治的に多くの課題を抱え、長らく経済発展が滞り、GDPも低い国と、多くの方が豊かではない国としての印象を持っておられることとでしよう。しかし、お金

が無くてもアメリカを凌ぐ世界一寄付をする国として優れた一面があります。これは国民の九割以上が敬虔な仏教徒であることに関係しています。仏教はインドで生まれ、大きく二つ伝来の流れがあります。一つは中国から日本に伝わる「大乘仏教」、もう一つは東南アジアに伝わる「上座部仏教（旧、小乗仏教）」で、ミャンマーは上座部仏教に当たります。ほとんどの国民は「カルマ（業、行い）」を信じ、「前世（過去世）」と「現世」、「来世」を分けて信じています。それは来世のために現在があり、現在は前世の業（行い）によるものと考えています。即ち、現世の状況は前世の因果応報であるので、来世のために「徳（善行、良い行い）」を積むことは当然であり大切なこととして、とても自然な形で暮らしているのだと思えます。

見返りを求めない、貧しくても誰もが迷わず寄付をする文化に繋がっています。今回の四名は介護は尊い仕事、立派な仕事で困っているお年寄りを助けてあげたいと喜んで日本へ、そして、友和苑に来て元気に頑張っております。これまでの印象ですが、ホスピタリティ精神が強く、謙譲の精神・身勝手な自己主張をしないといった古き良き日本の面影を見ることができます。更に、日本人と比べると裏表がなく、素直で正直な人たちだと感じています。このような技能実習生が友和苑の新しい介護職員として、これから三年間一緒に働くことになりました。私たちは、この方たちが人材不足を補う労働者の一人としてではなく、一緒に働く私たちの大切な仲間の一人として迎え入れていきます。事前に勉強して来日していただきますが、職場や生活、日本語などの不自由さを支えながら、早

く馴染めるように協力して行っています。皆様におかれましては、日本人との「相違」による、文化の違いやコミュニケーションなど、ご不便をおかけすることがあるかと思いますが、ご理解いただくとともに、暖かく見守りいただければ幸いです。これからも法人理念「安心、満足、可能性の追究」を目指し、利用者様が希望の持てる生活が望めるように、そして、皆様のセルフティネットとしての役割を果たし、地域福祉の発展・向上に貢献できるように努めてまいります。最後に、皆様にとって、現状が好転して、今年は明るく良い年になりますことを心からお祈りし、本年も相変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和三年元旦

社会福祉法人 麩城会

友和苑

理事長 名和久
施設長 村田 務

welcome

技能実習生

11月30日(月)三重県での約1カ月の研修を終えてミャンマーからの技能実習生4名が友和苑に赴任となりました。当日は職員が玄関にて歓迎の気持ちを含めて両国の国旗のイラストを持ってお出迎えをしました。皆さん緊張した面持ちでの初来苑となりましたが流暢な日本語で1人ずつ自己紹介をしてくれました。日本語の勉強をとて頑張ったことが伝わってきました。その後歓迎会が和やかに地域交流室にて行われ



技能実習生4名



正面玄関にて歓迎する職員

ました。日本食のお弁当をみんなで頂き、お味の感想はとても美味しいとのことでした。慣れない海外での生活と介護のお仕事が始まります。介護の技術をしっかりと身に付けて帰国すること、日本での生活を楽しんでいただけるように友和苑の職員がサポートしていけたらと思っております。今後の技能実習生の成長がとても楽しみです。

感謝

12月11日(金)大垣かがやきクラブの皆様が歳末の慰問に来てくださいました。

タオルや雑巾・みかんを贈呈していただきました。コロナ禍ということで、入所している方々に直接受け取って頂くことはできませんでしたが、大切に使用させていただきたいと思えます。

いつもありがとうございます。



新年の楽しみのひとつ、年賀状。自分や家族宛てに作ってみようと、ケアハウスの入居者のみなさんと年賀状作りを行いました。墨を付け筆で書かれる方、太字や細字ペン、うす墨やカラフル筆ペンなどを使う方、いろ

年賀状作り



清書する利用者様

いろ工夫を凝らし作成していきます。「親子の牛が書きたい」「絵にしようか、漢字にしようか」と相談しながらそれぞれ個性ある作品に仕上がりました。今はパソコンで印刷出来てしまう時代ですが、自分で書くのもいいものですね。

入居者様が作成した年賀状

作品作り



特養2階共同作品

サンタが友和苑にやってきた! このタイトルは職員のアイデアです! 毎月楽しみなデイサービスの作品。今月はクリスマスがテーマ。そりに乗って、トナカイと一緒にやってきたサンタクロース。周りには色とりどりのポイントセア。また、みんなのプレゼントが詰まった靴下が並んでいます。サンタクロースやトナカイはちぎり絵で、また靴下は塗り絵とシールとマスキングテープで、仕上げられています。デイサービスご利用者が、1か月をかけてレクリエーション活動で取り組んでくださった作品です。コロナ禍ですが、一足早くサンタクロースが友和苑に来てくれました。

移動美容室予定

1月・・ 7日(木) 13日(水)
2月・・ 10日(水) 18日(木)



デイに来たサンタ